福島市街地周辺地域の安心を守る住民の会

自立更生促進センター
運営見直しを求める署名のお願い

法務省は、福島市で刑務所の仮釈放者を居住させ住居と仕事の確保を目指す「自立更生促進センター」を運営しようとしています。場所は、ハローワーク近く、福島市のシンボル「信夫山」の噴水の裏側、学校密集地の中心です。

この施設について、12月19日の西日本新聞によれば、「薬物依存や性的嗜好性、暴力的性向など特定の問題を抱えた出所者に専門的な処遇プログラムを施し、更生と再犯防止のため国がはじめて直営施設設置に乗り出す」とあります。

施設のパンフレットには門限が午後10時とあり、法務省の報告書には「刑務所を出所した受刑者の再犯率は、満期出所者で約6割、仮釈放者で4割となっており・・・」とあります。

こういった趣旨の施設が必要で、大切であることは周辺住民は理解しています。

しかし私たちは、大切な福島市街地を、不安の無い安心な地域とするためには、特にこの地域の10の学校（第四中学校、小学校　学法福島高校　橘高校　東稜高校　など）に通う何千もの学生たちが安心して学業に集中するには、現在のこの施設の場所は適さないのではと考えます。

又、入所者が「隣近所の人と折り合い良く生活する」ことは大切と施設のパンフレットにありますが、10校が密集するこの地域での運営は、入所者への風当たりもどうしても強くなってしまうことが考えられ、何よりも大切な、本来の目的である「入所者の自立更生」のために大きな障害になってしまうのではと考えます。

よって私たちは、福島市の発展、また、入所者の方々のより確かな更生促進のためにも、学校密集地域のこの施設の運営に反対せざるをえないのです。

主旨をご理解いただき、狐塚自立更生促進センター運営見直しを求める署名をお願いしております。

(尚、ご署名いただきました個人情報につきましては本件以外には使用いたしません。)

私たちは学校密集地域の自立更生促進センター運営見直しを求めます

名前	住所
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	